



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東 大

上場会社名 神鋼商事株式会社

コード番号 8075 URL <http://www.shinsho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村瀬 敬一

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 角谷 和昭

TEL 03-3276-2036

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	223,354	7.6	1,636	△15.0	1,529	△7.5	673	△40.0
23年3月期第1四半期	207,497	29.0	1,924	85.1	1,652	110.0	1,121	146.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,043百万円 (14.1%) 23年3月期第1四半期 914百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	7.60	—
23年3月期第1四半期	12.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	220,630	26,901	11.4
23年3月期	229,118	26,089	10.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 25,078百万円 23年3月期 24,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	475,000	12.4	3,500	△4.5	2,900	△2.1	1,600	△1.4	18.07
通期	1,000,000	15.9	8,200	6.9	7,000	10.5	4,000	19.5	45.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	88,605,625 株	23年3月期	88,605,625 株
24年3月期1Q	52,595 株	23年3月期	52,595 株
24年3月期1Q	88,553,030 株	23年3月期1Q	88,554,383 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により急激に落ち込んだ企業活動に持ち直しの動きが見られるものの、企業収益や雇用・所得環境は依然厳しい状況が続きました。

このような環境の下、当社グループは主要需要家である自動車業界向けなどが震災による大幅な落ち込みから回復基調にあることに伴い、鉄鋼、非鉄金属セグメントを中心に業績回復は進んでいるものの、引き続き厳しい状況で推移しております。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は223,354百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は1,636百万円（前年同四半期比15.0%減）、経常利益は1,529百万円（前年同四半期比7.5%減）となりましたが、投資有価証券評価損として481百万円を計上したことから、四半期純利益は673百万円（前年同四半期比40.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は産業機械業界向け需要が回復傾向にあり、取扱いが増加しましたが、線材製品は自動車生産の減少、鉄鋼二次・三次製品は建設業界向け需要の低迷、さらにチタン製品は電力関連需要の減少など、震災の影響によりそれぞれ取扱いが減少しました。一方、海外では米国を中心に鋼材需要が回復基調にあることから、取扱いが増加しました。

この結果、売上高は65,207百万円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益は806百万円（前年同四半期比7.3%増）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は粗鋼生産減少の影響はありましたが、価格上昇により取扱いは増加しました。冷鉄源は銑鉄の輸出により、また、チタン原料は価格上昇により、それぞれ取扱いが増加しました。

この結果、売上高は92,099百万円（前年同四半期比18.9%増）、セグメント利益は228百万円（前年同四半期比30.6%減）となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は震災の影響により空調用銅管の取扱いが増加しましたが、半導体向けおよび自動車向け端子コネクタ用銅板条の取扱いは減少しました。アルミ製品はIT関連向けおよび輸入材の取扱いが増加しましたが、印刷版、自動車向けアルミ板条の取扱いは減少しました。また、非鉄原料はスクラップの取扱いが増加しましたが、銅・アルミ地金の取扱いは減少しました。

この結果、売上高は53,313百万円（前年同四半期比3.6%減）、セグメント利益は348百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は国内の設備投資が低調に推移しましたが、製鉄所向け等の取扱いは増加しました。また、情報関連商品は液晶用電子材料やハードディスク関連装置の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は10,868百万円（前年同四半期比9.5%増）、セグメント損失は62百万円（前年同期は60百万円の損失）となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は造船業界向けは堅調に推移し、また、海外プラント向けの輸出も取扱いが増加しましたが、建設機械・自動車および化工機の各業界向けの需要が減少し、取扱いは減少しました。溶接関連機器は国内外建設機械業界向け大型案件や国内造船業界向け設備納入により取扱いが増加しました。また、生産材料も国内海外ともに好調に推移しました。

この結果、売上高は13,455百万円（前年同四半期比6.9%増）、セグメント利益は221百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は220,630百万円となり前連結会計年度比8,488百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金と受取手形及び売掛金の減少によるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は193,728百万円となり、前連結会計年度末比9,301百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は26,901百万円となり、前連結会計年度比812百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加により株主資本が増加したことによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想および配当予想につきましては未定としていましたが、現時点において入手可能な情報や予想等に基づき、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想ならびに配当予想を新たに記載しております。

なお、詳細につきましては、本日別途公表しました「平成24年3月期の業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等並びに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	13,020	9,372
受取手形及び売掛金	151,791	149,550
商品及び製品	21,983	21,400
仕掛品	321	462
原材料及び貯蔵品	310	343
前払金	11,584	11,198
繰延税金資産	745	541
その他	3,916	2,984
貸倒引当金	△348	△332
流動資産合計	203,325	195,520
固定資産		
有形固定資産	3,875	3,912
無形固定資産	534	689
投資その他の資産		
投資その他の資産	21,781	20,883
貸倒引当金	△397	△374
投資その他の資産合計	21,383	20,508
固定資産合計	25,793	25,109
資産合計	229,118	220,630
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	133,497	122,507
短期借入金	32,208	32,779
未払法人税等	1,651	200
賞与引当金	687	367
その他	18,667	21,764
流動負債合計	186,711	177,619
固定負債		
長期借入金	14,486	14,479
退職給付引当金	171	174
役員退職慰労引当金	35	27
その他	1,624	1,428
固定負債合計	16,317	16,109
負債合計	203,029	193,728
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	18,965	19,417
自己株式	△16	△16
株主資本合計	27,302	27,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△52	33
繰延ヘッジ損益	△27	24

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年3月31日）	当第1四半期連結会計期間 （平成23年6月30日）
為替換算調整勘定	△2,931	△2,734
その他の包括利益累計額合計	△3,011	△2,675
少数株主持分	1,797	1,822
純資産合計	26,089	26,901
負債純資産合計	229,118	220,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	207,497	223,354
売上原価	202,094	217,998
売上総利益	5,403	5,356
販売費及び一般管理費	3,478	3,719
営業利益	1,924	1,636
営業外収益		
受取利息	18	7
受取配当金	189	149
持分法による投資利益	97	102
デリバティブ評価益	435	131
雑収入	117	157
営業外収益合計	858	548
営業外費用		
支払利息	149	172
売掛債権譲渡損	430	235
為替差損	410	148
雑損失	140	100
営業外費用合計	1,130	655
経常利益	1,652	1,529
特別利益		
貸倒引当金戻入額	40	—
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	40	2
特別損失		
固定資産売却損	2	—
投資有価証券評価損	4	481
会員権評価損	4	—
特別損失合計	11	481
税金等調整前四半期純利益	1,681	1,050
法人税、住民税及び事業税	430	115
法人税等調整額	115	243
法人税等合計	546	358
少数株主損益調整前四半期純利益	1,135	691
少数株主利益	13	18
四半期純利益	1,121	673

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,135	691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△506	87
繰延ヘッジ損益	67	51
為替換算調整勘定	200	185
持分法適用会社に対する持分相当額	19	27
その他の包括利益合計	△220	352
四半期包括利益	914	1,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	886	1,008
少数株主に係る四半期包括利益	28	35

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に商品別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う商品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業本部を基礎とした商品別セグメントから構成されており、「鉄鋼」、「鉄鋼原料」、「非鉄金属」、「機械・情報」及び「溶材」の5つを報告セグメントとしております。

「鉄鋼」は、線材、薄板、厚板を中心に、鋳鍛、チタン、鉄粉などを海外及び国内へ販売しております。「鉄鋼原料」は、主に(株)神戸製鋼所へ石炭、コークス、鉄鉱石などを海外及び国内から調達し、販売しております。

「非鉄金属」は、主に自動車、空調向けのアルミ・銅製品を海外及び国内へ販売しております。「機械・情報」は主に産業機械、化学機械などを海外及び国内へ販売しております。「溶材」は、主に溶接材料、溶接機などを海外及び国内へ販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	65,381	77,461	55,327	9,928	12,581	220,680	△13,183	207,497
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1	—	—	1	△1	—
計	65,381	77,461	55,328	9,928	12,581	220,681	△13,184	207,497
セグメント利益又は損失(△)	751	328	373	△60	199	1,593	58	1,652

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,593
「その他」の区分の損益	5
その他の調整額	52
四半期連結損益計算書の経常利益	1,652

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に商品別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う商品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業本部を基礎とした商品別セグメントから構成されており、「鉄鋼」、「鉄鋼原料」、「非鉄金属」、「機械・情報」及び「溶材」の5つを報告セグメントとしております。

「鉄鋼」は、線材、薄板、厚板を中心に、鋳鍛、チタン、鉄粉などを海外及び国内へ販売しております。「鉄鋼原料」は、主に(株)神戸製鋼所へ石炭、コークス、鉄鉱石などを海外及び国内から調達し、販売しております。

「非鉄金属」は、主に自動車、空調向けのアルミ・銅製品を海外及び国内へ販売しております。「機械・情報」は主に産業機械、化学機械などを海外及び国内へ販売しております。「溶材」は、主に溶接材料、溶接機などを海外及び国内へ販売しております。

なお、当期よりセグメント利益の測定方法について一部見直しを行いました。これに伴い前第1四半期連結累計会計期間について当第1四半期連結累計会計期間の測定方法に合わせて表示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	65,207	92,099	53,313	10,868	13,455	234,945	△11,590	223,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	65,207	92,099	53,313	10,868	13,455	234,945	△11,590	223,354
セグメント利益又は損失(△)	806	228	348	△62	221	1,543	△14	1,529

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,543
「その他」の区分の利益	16
その他の調整額	△30
四半期連結損益計算書の経常利益	1,529

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。